

2012年3月期 決算説明会

Reform & Enhancement

2012年4月27日

株式会社トプコン

取締役社長 内田憲男

2012年3月期 決算説明会

I 2012年3月期決算報告

II 事業構造改革の成果

III 2013年3月期通期計画

IV 参考資料

※この資料では一部、事業部名を下記の略号で示しております。

PBU : ポジショニングビジネスユニット / EBU : アイケアビジネスユニット / FBU : 旧ファインテックビジネスユニット

I. 2012年3月期決算報告

連結決算状況



(単位:百万円)

[連 結]	2011年3月期	2012年3月期		2012年1月31日
	実績	実績	前年比 (%)	公表値
売上高	102,470	98,834	96.5%	97,000
売上総利益	41,061	38,118	92.8%	
販管費	39,261	36,037	91.8%	
営業利益 (営業利益率)	1,799 (1.8%)	2,080 (2.1%)	115.6%	1,800 (1.9%)
営業外損益	△ 1,191	△ 1,613	—	
経常利益	608	467	76.8%	0
特別損益	△ 621	△ 5,076	—	△ 5,400
税引前損益	△ 12	△ 4,608	—	
当期純損益	△ 1,288	△ 3,686	—	△ 5,000
年間配当・円	4円	4円		4円

セグメント別決算状況



(単位:百万円)

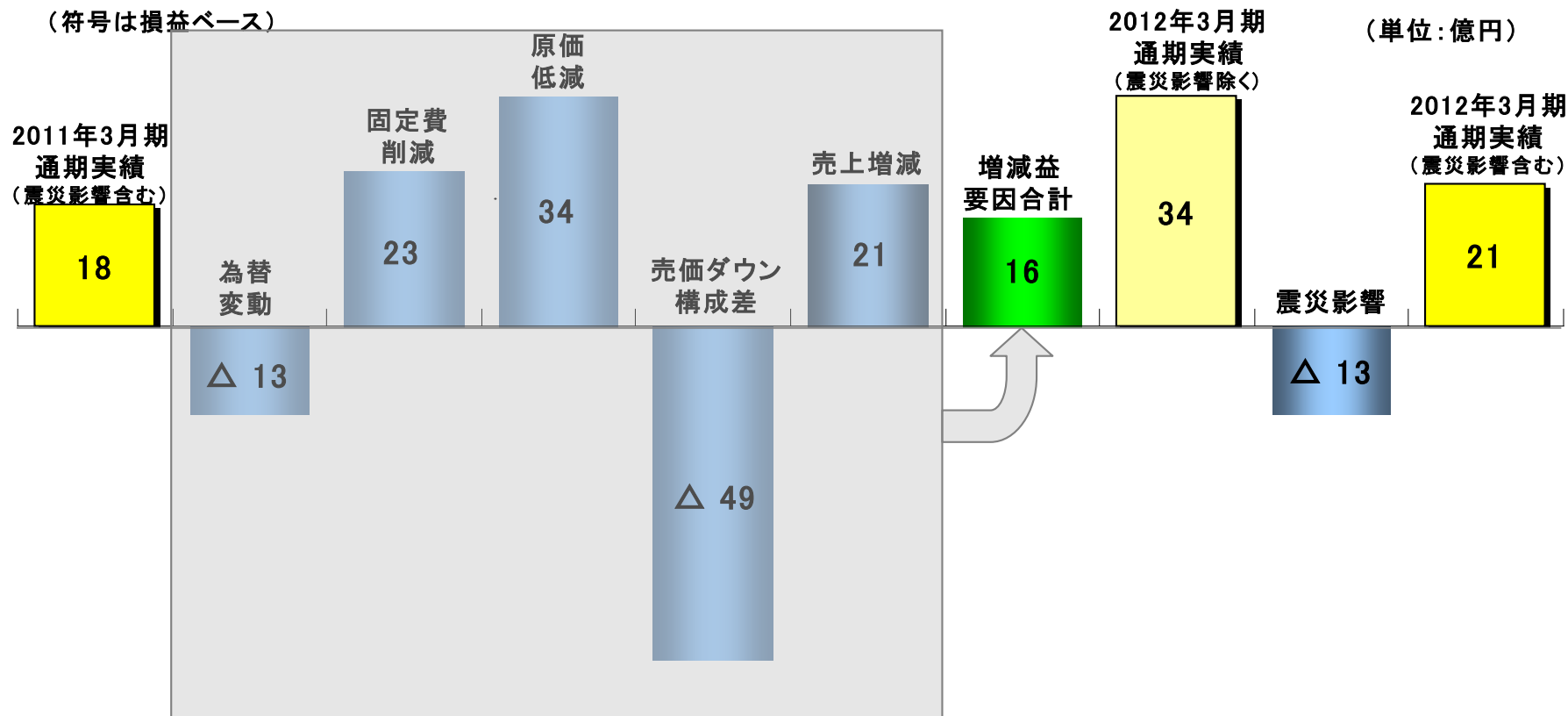
[連 結]		2011年3月期	2012年3月期		2012年1月31日
		実績	実績	前年比 (%)	公表値
売上高	ポジショニング	51,559	52,656	102.1%	51,000
	アイケア	30,946	32,598	105.3%	32,000
	ファインテック	19,964	13,579	68.0%	14,000
	合計	102,470	98,834	96.5%	97,000
営業利益	ポジショニング	130	1,482	—	1,300
	アイケア	307	1,766	575.2%	1,700
	ファインテック	1,362	△1,168	—	△ 1,200
	合計	1,799	2,080	115.6%	1,800

「営業利益」増減益要因分析(前年度比)



[連結]

(2011年3月期 通期実績 → 2012年3月期 通期実績)



2011年度為替の影響額(期初計画比)



	2011年度為替レート				影響額合計	
	期初前提 レート (4~9月)	3Q前提 レート (10~12月)	4Q前提 レート (1~3月)	期中平均 レート	売上高	営業利益
US\$	80円	75円	75円	79.30円	△4億円	△1億円
EUR	110円	105円	100円	110.17円	0億円	0億円
合計					△4億円	△1億円

*参考 2010年度期末レート :(US\$)83.15円 (EUR)117.57円

2010年度期中平均レート:(US\$)85.82円 (EUR)113.56円

為替の影響額(主要事業)



(単位:百万円)

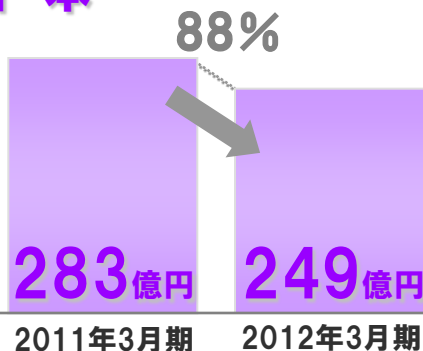
売上高	2011年3月期 実績	2012年3月期		
		実績	現地通貨ベース	為替影響額
ポジショニング	51,559	52,656 前年度比 102%	55,494 前年度比 108%	△2,838
アイケア	30,946	32,598 前年度比 105%	33,800 前年度比 109%	△1,202

営業利益	2011年3月期 実績	2012年3月期		
		実績	現地通貨ベース	為替影響額
ポジショニング	130	1,482 前年度比 約11倍	2,294 前年度比 約18倍	△812
アイケア	307	1,766 前年度比 約6倍	2,209 前年度比 約7倍	△443

国内・海外売上高(前年比)

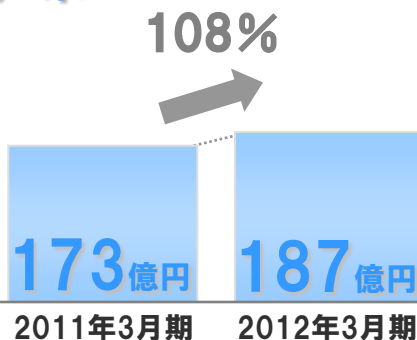


日本



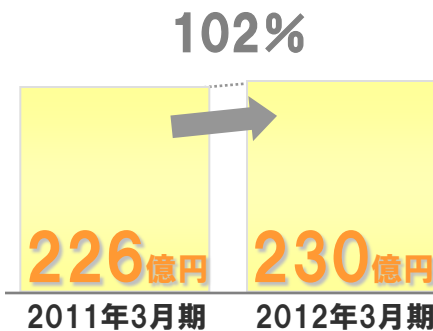
・FBU事業の不振

北米



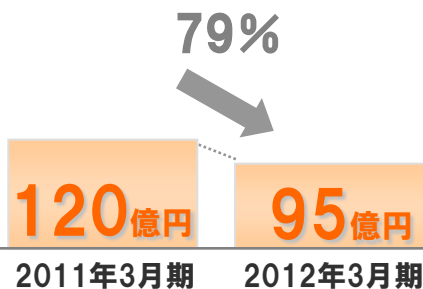
・PBUは穏やかに回復

ヨーロッパ



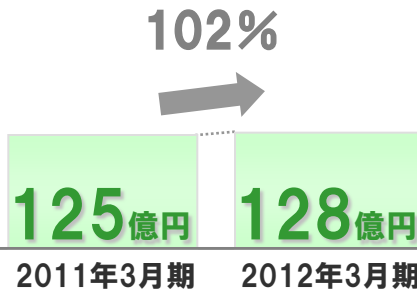
・EBUは堅調に推移

中国



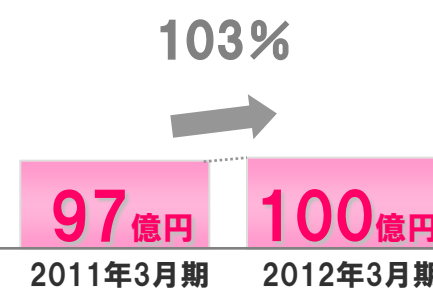
・FBU事業の不振
・PBUは建設投資減の影響

アジア・オセアニア



・PBUは堅調に推移
・FBU事業の不振

その他

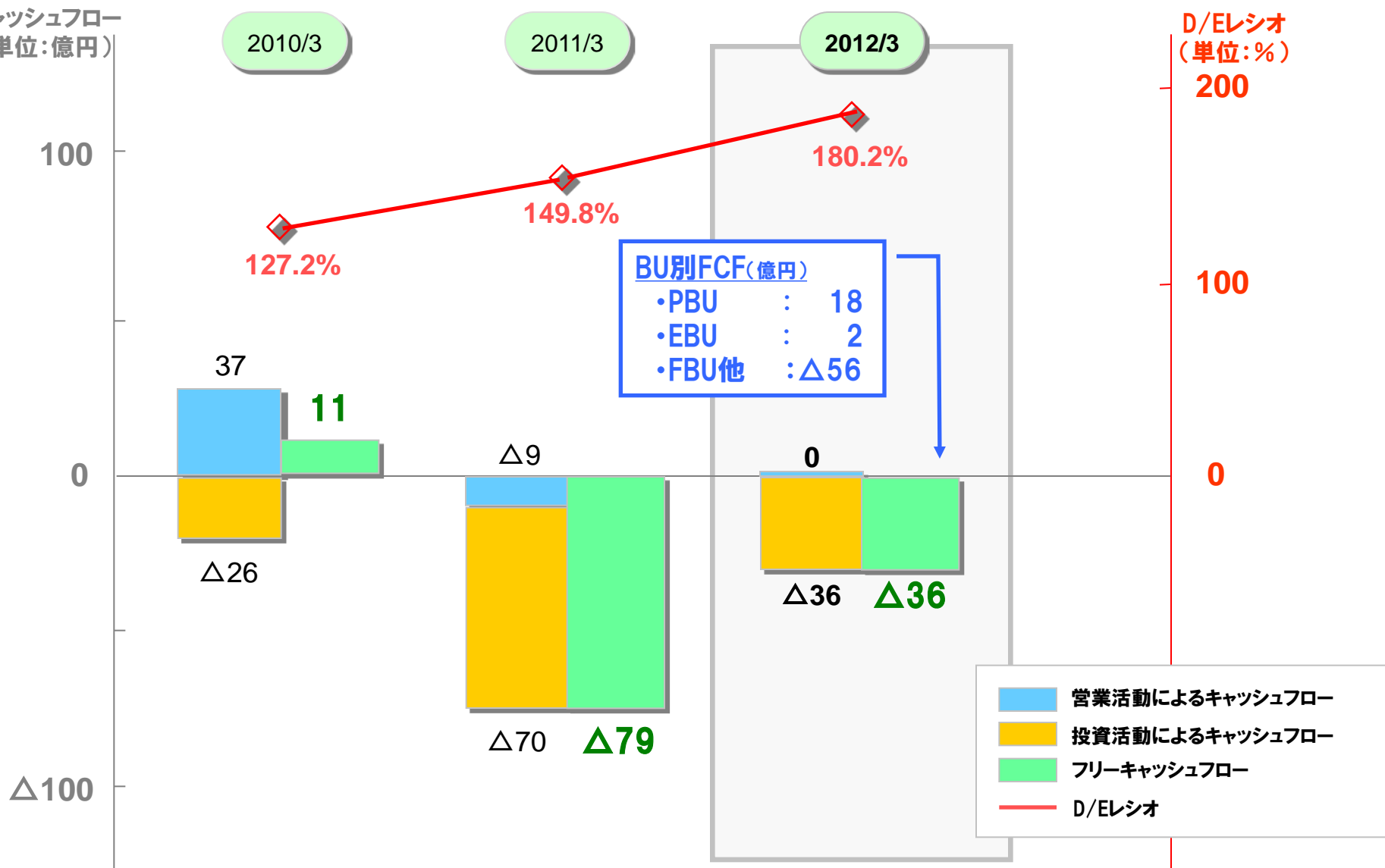


・PBU、EBUともに穏やかに回復

連結キャッシュフロー

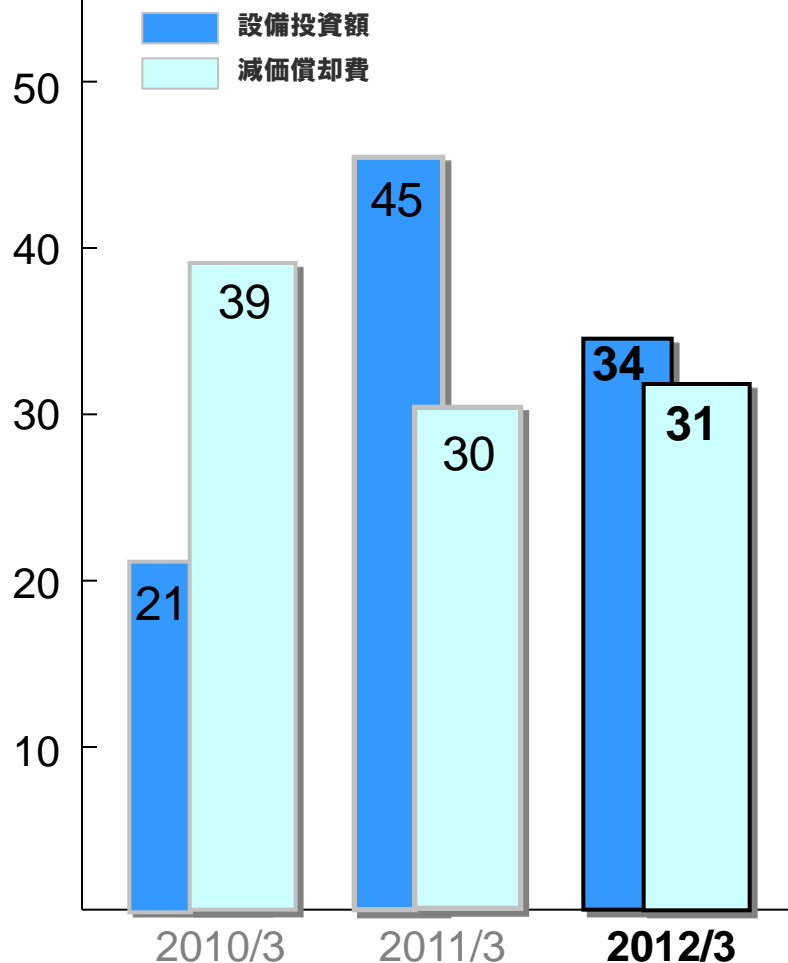


キャッシュフロー
(単位:億円)



設備投資額・減価償却費

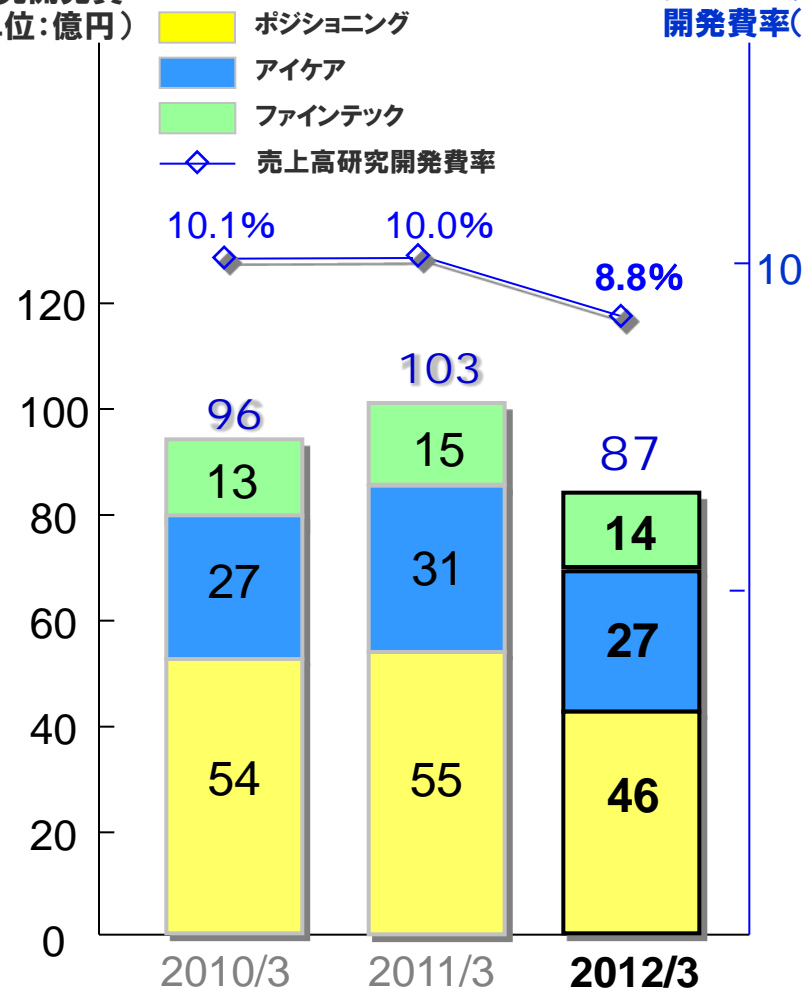
(単位:億円)



研究開発費

研究開発費
(単位:億円)

売上高研究
開発費率(%)



特別損益内訳（2011年度）



1. 主な特別利益

■ 関係会社株式売却益

605百万円

■ 土地売却益

325百万円

2. 主な特別損失

■ 特別退職金（希望退職）

△701百万円

■ ファインテック事業撤退費用

△4,967百万円

■ 投資有価証券売却損

△282百万円

■ 関係会社清算損失

△55百万円

★ 特別損益合計

△5,076百万円

II. 事業構造改革の成果

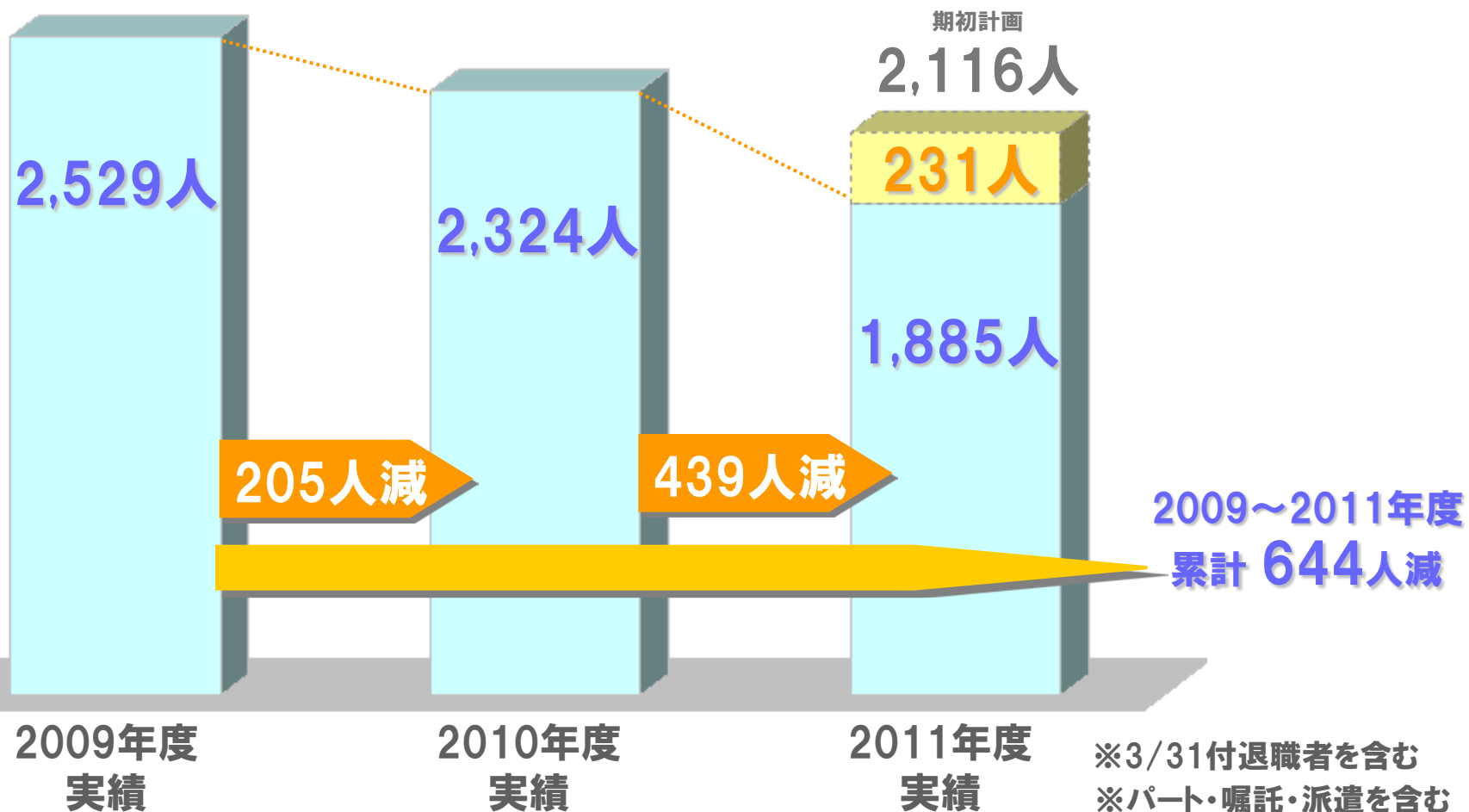
人件費削減、原価低減の成果(前期実績と今期計画)

(単位:億円)

	中期経営計画2013 計画	2012年3月期 実績(A)	2013年3月期 計画(B)	合計(A+B)
人件費削減	25	23 PBU 11、EBU 7	26 PBU 7、EBU 5	49 PBU 18、EBU 12
原価低減	75	34 PBU 19、EBU 13	38 PBU 25、EBU 11	76 PBU 44、EBU 24
合計	100	57 PBU 30、EBU 20	64 PBU 32、EBU 16	121 PBU 62、EBU 36

★中期経営計画2013(2011年度～2013年度)3ヶ年の目標を2年間で達成予定

国内連結人数の推移（計画通り削減）



事業再編を完了(選択と集中)

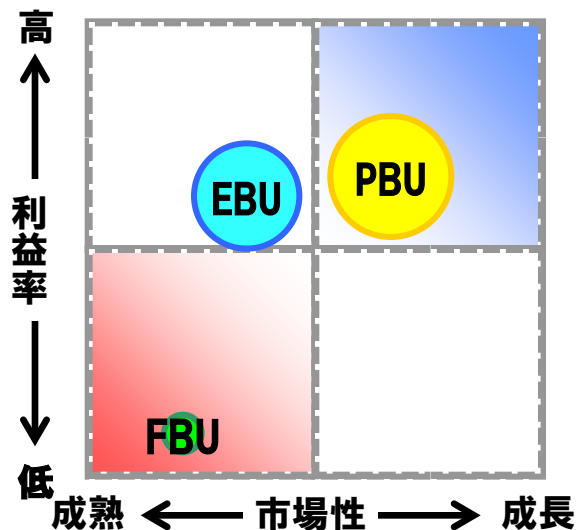
FBU事業規模を縮小



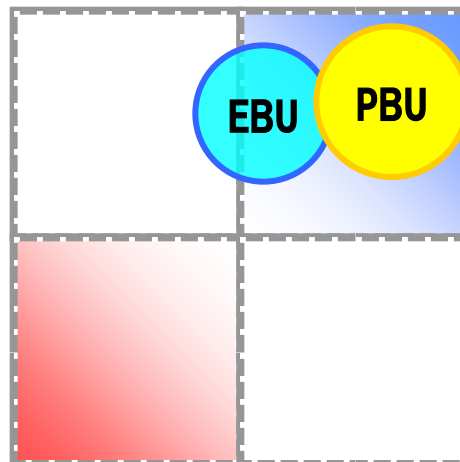
成長性の高いPBU・EBUに注力する再編を完了

事業ポートフォリオ

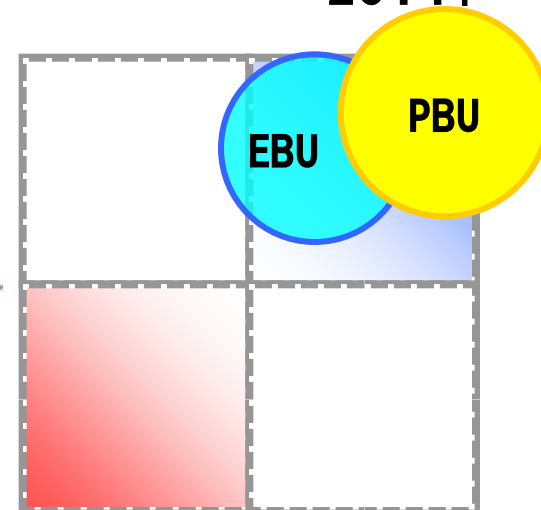
2011年



2013年



2014年



III. 2013年3月期通期計画

通期業績見込



(単位:百万円)

[連 結]		2012年3月期		2013年3月期			
		第2四半期 累 計		第2四半期 累 計		通 期	
		実績	実績	見込	前 年 同期比 (%)	見込	前年度比 (%)
売上高		49,577	98,834	51,000	102.9%	108,000	109.3%
営業利益		517	2,080	2,000	386.8%	8,000	384.6%
経常利益		△688	467	1,400	—	6,800	—
当期(四半期)純利益		△1,960	△3,686	400	—	3,000	—
ROE			△10.6%			8.8%	
配当		2 円	4 円	2 円		6 円	
為 替 換算レ-ト (期中平均)	US\$	79.73 円	79.30 円	80 円		80 円	
	EUR	114.09 円	110.17円	110 円		110 円	

セグメント別業績見込



(単位:百万円)

[連結]		2012年3月期		2013年3月期			
		第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計		通期	
		実績	実績	見込	前年 同期比 (%)	見込	前年度比 (%)
売上高	ポジショニング	26,004	52,656	30,000	115.4%	62,000	117.7%
	アイケア	15,620	32,598	16,000	102.4%	35,000	107.4%
	その他	7,952	13,579	5,000	62.9%	11,000	81.0%
	合計	49,577	98,834	51,000	102.9%	108,000	109.3%
営業利益	ポジショニング	508	1,482	1,500	295.3%	5,000	337.4%
	アイケア	424	1,766	800	188.7%	3,000	169.9%
	その他	△416	△1,168	△300	—	0	—
	合計	517	2,080	2,000	386.8%	8,000	384.6%

1. ポジショニング

新規事業の創出と成長促進

- IT農業は欧米豪を中心とした急成長する需要を背景に、商品力・販売力の強化に集中投資で最大限の伸長を目指す **技術力No.1**
- 成長国市場に重点的にリソース投下し高付加価値商品の普及を推進する

IT農業分野 売上高



基盤事業の強化

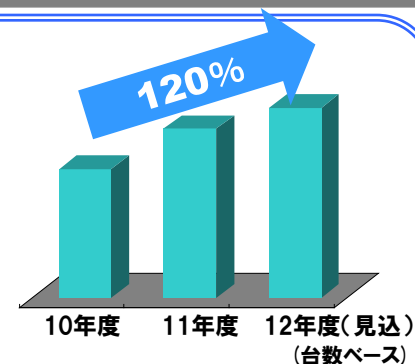
- **世界初**の通信機能「TSshield」の標準化でユーザーサポートの飛躍的な充実を図る
- **コスト半減**と良質な日本生産維持の両立を実現し、収益性を拡大する



2. アイケア

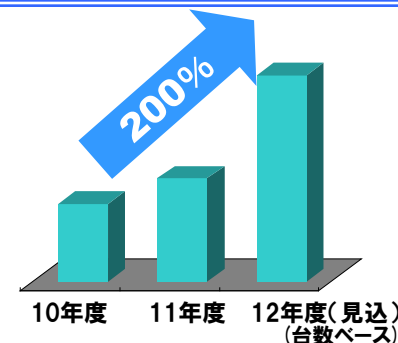
成長事業の強化(3D OCTで幅広い市場をカバー)

- **ハイエンド市場に高機能DRI-OCT投入 世界初**
(多数の有力ドクターからの評価は絶賛)
- **開業医、オプトメトリスト向け市場には普及型機種を投入**
(眼底カメラ+OCT統合機は**Only 1**)



新規事業の育成(治療機器)

- **網膜パターン光凝固装置の新製品投入 世界初**
- **戦略的な価格設定**



グローバル経営管理システムの構築推進

正確な情報を迅速に入手



意思決定のスピードアップ

生産拠点の最適化推進

「モノづくり」の強化

“Enhancement(成長戦略)”へ軸足をシフト



経営資源を集中投資

PBU・EBUに旧FBU分を投資

研究開発を加速

21億円を加算
(73億円→94億円)

事業構造の強化

新規事業の強化

PBU IT農業、3次元計測

EBU 予防分野、治療機器

基幹商品のリリース

PBU 新型GPS、新型TS、新型MC

EBU 新型OCT、新型レーザー治療機器

事業構造 改革効果

業績伸長

2012年度の前年度比

売上高 : PBU +93億円(18%増)

EBU +24億円(7%増)

営業利益 : PBU +35億円(237%増)

EBU +12億円(70%増)

「営業利益」増減益要因分析(前年度比)



[連結]

2012年3月期
通期実績

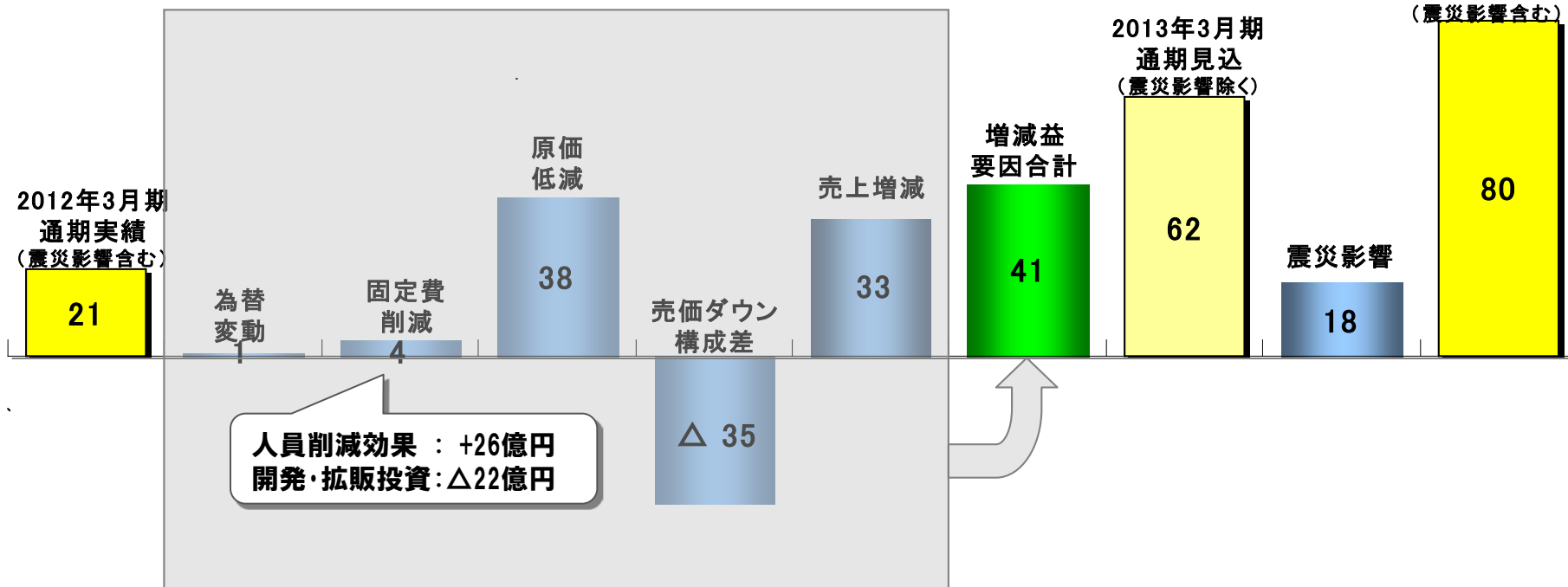


2013年3月期
通期見込

(符号は損益ベース)

(単位: 億円)

2013年3月期
通期見込
(震災影響含む)



資源投入計画（2012年度）



(単位:億円)

項目	2011年度	2012年度
設備投資額	34	34
(減価償却費)	(31)	(40)
研究開発費 (売上高研究開発費率)	87 (8.8%)	97 (9.0%)
投資・融資	6	30

★2012年度は旧FBU分の研究開発費をPBU・EBUに投入



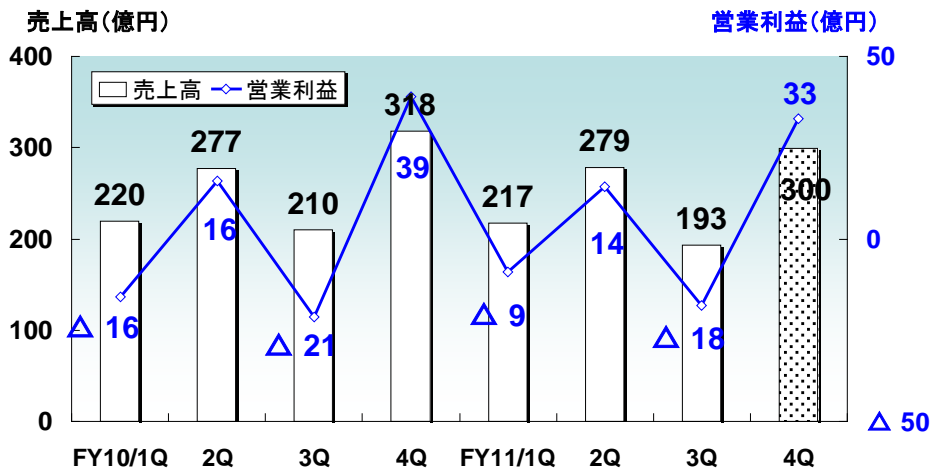
*Reform(改革)から
Enhancement(成長)へ*

IV. 参考資料

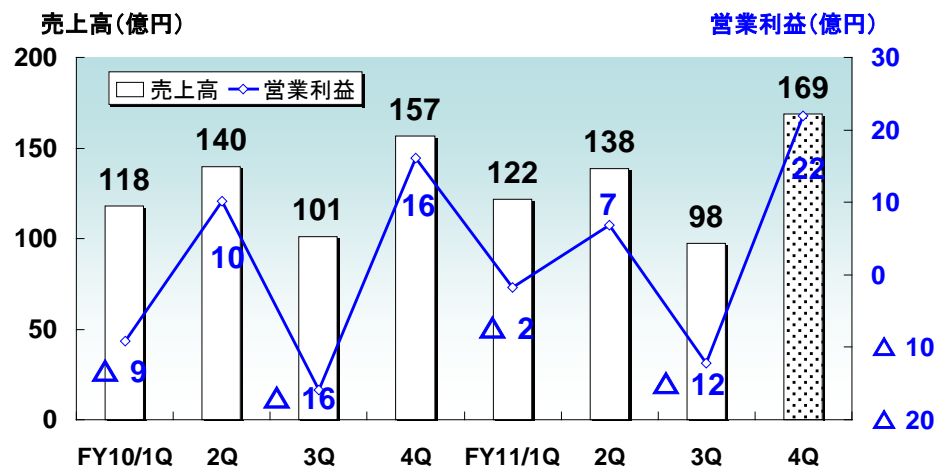
四半期別業績推移



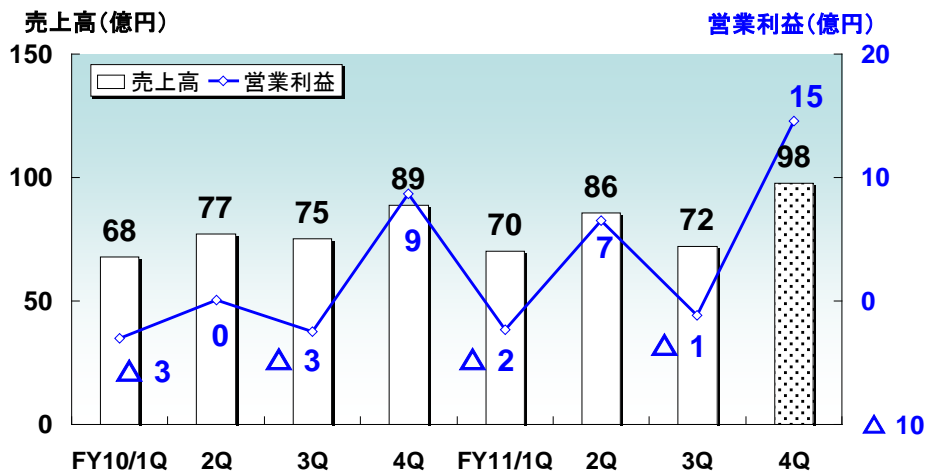
1. 全社



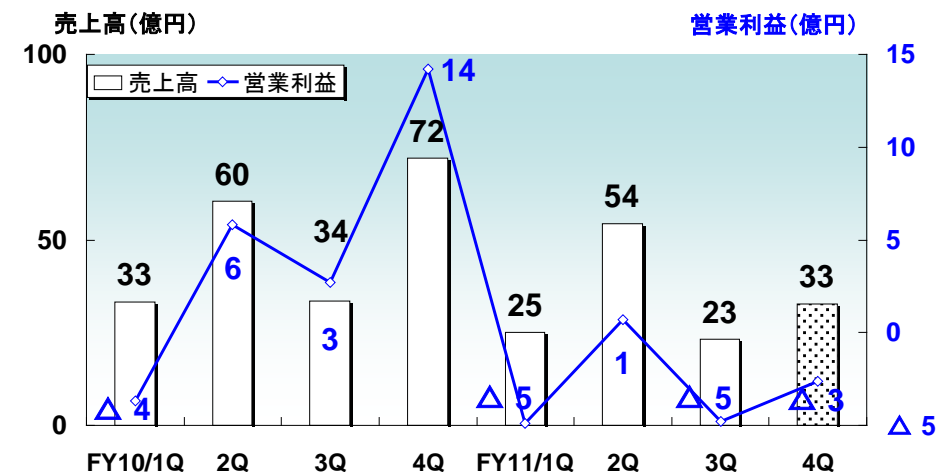
2. ポジショニング



3. アイケア



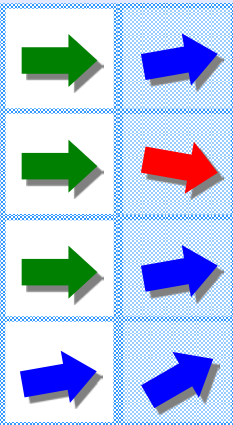
4. ファインテック



地域別

- 米州
- ヨーロッパ
- 日本
- 新興国

FY11 FY12



《FY11 状況》

- ▶ 先進国では市況の不透明感で市場は横ばい
- ▶ 新興国市場は拡大するも、金融不安・政情不安の影響もあり、地域により期待ほど伸びず

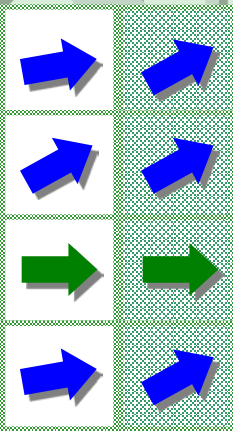
《FY12 予測》

- ✓ 米国市場を中心にゆるやかな回復
- ✓ 新興国は成長ペースの回復

市場別

- 土木
- IT農業
- 測量・GIS
- 計測

FY11 FY12



《FY11 状況》

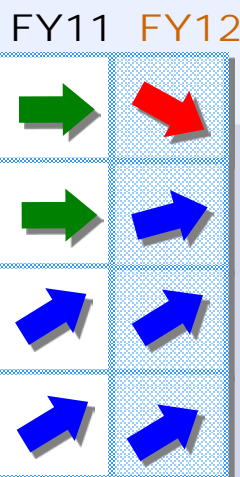
- ▶ IT施工、IT農業、計測分野堅調
- ▶ 測量分野は円高と競合激化の影響が大きく横ばい

《FY12 予測》

- ✓ 引き続きIT施工、IT農業、計測分野の拡大
- ✓ 新興国でも高付加価値商品の需要増

地域別

- ヨーロッパ
- 米州
- 日本
- アジア



《FY11 状況》

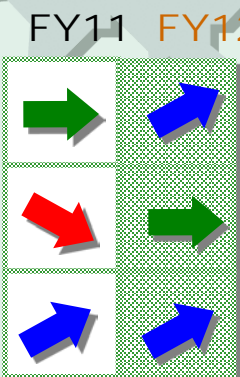
- ▶ 欧州財政危機再燃による、南欧主要国で設備投資の鈍化
- ▶ 米州市況は下げ止まり。回復局面へ
- ▶ 日本は眼鏡下げ止まり。眼科は診療報酬改訂の様子見があった
- ▶ アジアは中国及びインド堅調

《FY12 予測》

- ✓ 欧州は財政危機により主要国で医療予算削減、需要低迷
- ✓ 米州市況は緩やかに回復傾向
- ✓ 日本は治療機器伸長、診断機器微増
- ✓ 伸長続く中国・インドを筆頭に堅調な伸長に期待

市場別

- 眼科
- 眼鏡
- 糖尿病・緑内障スクリーニング



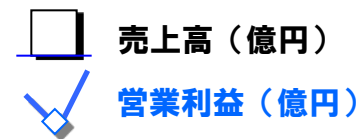
《FY11 状況》

- ▶ 眼科市場は設備投資手控え。入札案件減少
- ▶ 眼鏡市場は設備投資低迷。低価格化・差別化競争へ
- ▶ 健診・人間ドック市場は新興国で伸長

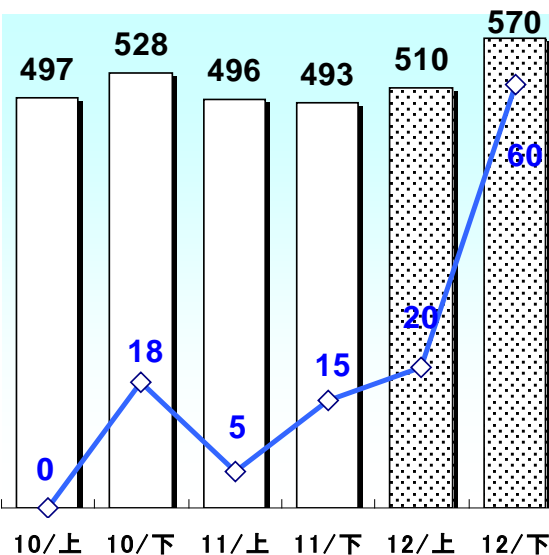
《FY12 予測》

- ✓ 眼科市場は中国で設備投資引き合い増加、欧州は低迷
- ✓ 眼鏡市場はチェーン店向け低価格・差別化競争激化
- ✓ スクリーニングは先進国の買換え需要、新興国の需要拡大継続

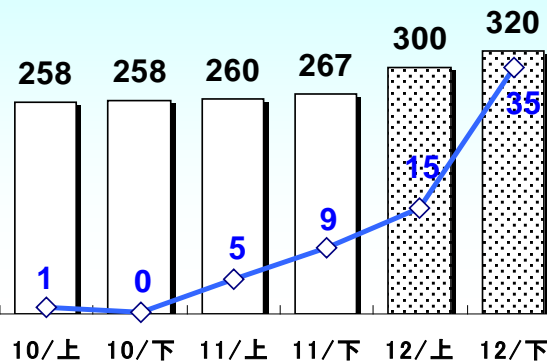
半期別業績推移 (2012年度)



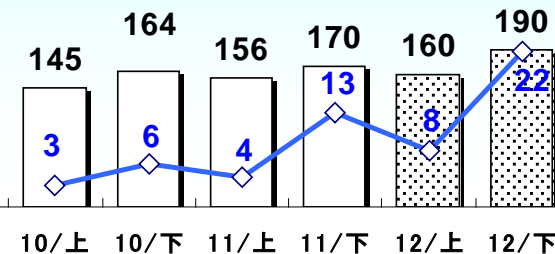
1. 全社



2. ポジショニング



3. アイケア



為替の影響度（2012年度）



	為替レート	1円の変動による影響額	
	2012年度前提レート	売上高	営業利益
US \$	80円	6億円	2億円
EUR	110円	2億円	1億円

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、計画のもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

お問い合わせ先

株式会社トプコン 経理グループ 広報・IR部

TEL : 03-3558-2532

E-mail: investor_info@topcon.co.jp

URL : <http://www.topcon.co.jp>